

第2節 こども家庭センター

〔総括概要〕

こども家庭センターでは、全ての妊産婦、こども、子育て家庭の心身の健康の保持増進を図るとともに、発達支援や児童福祉などに関する包括的な相談支援を行った。

おやこはぐくみ係では、妊娠前から産前産後、乳幼児期における母子保健や子育て支援において、全ての妊産婦、乳幼児、子育て家庭を対象に、健康の保持・増進に関する妊産婦健康診査や乳幼児健康診査などの各種健康診査、両親教室、プレパパ教室、離乳食教室などの健康教育や子育て相談、若年・多胎児家庭交流などの相談・交流事業を実施した。

また、これらの事業や妊娠届出、妊娠8か月、生後2週間、生後2か月などに行われる面談を通じ、子育て家庭の状況や実情を把握するとともに、相談内容やニーズに応じて必要な、産前産後のサポート（産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業など）や子育てサービスの提供を行うなど切れ目ない相談支援を行った。

こどものすだち応援係では、発達の遅れや心の成長に課題を持つこどもたちに対し、医師や心理相談員、言語相談員、保健師等が電話や面談を通して、個人の課題に寄り添いながら支援を実施した。

就学前の児童に対しては、認定こども園、幼稚園、保育園の巡回訪問や5歳児発達相談、乳幼児発達相談等を実施し、発達障がい児等を早期に療育の場に繋げたり、未就学児ことばの教室など、子どもの特性に応じた支援環境の整備を図った。

更に、就学後も支援を継続していくため、学校等を窓口として相談がある保護者に対応し、集団生活や家庭環境に課題を持つ児童の支援を行った。

児童家庭相談係では、こども及びその家庭並びに妊産婦の福祉に関し、実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行い、児童虐待の未然防止に努めるとともに、家庭児童相談ヤングケアラー支援及び養育支援家庭訪問において、児童の家族関係の健全化や児童の養育の適正化に努めた。

ひとり親家庭の福祉については、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子（父子・寡婦）福祉資金貸付申請の受付等を行った。

また、配偶者等からの暴力による被害者の自立及び支援を行うため、配偶者暴力相談支援センターで、より細やかな相談支援を行えるように努めた。

おやこはぐくみ係

1 こども家庭センター相談窓口関係

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠の届出をした妊婦に対し母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する母子保健サービスの情報提供を行った。安心して妊娠・出産が迎えられるよう専門職の面接を必須とし、リスクアセスメントシートをもとにケースカンファレンスを実施。伴走型支援や経済的支援につなげている。

・母子健康手帳交付状況

(単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
		妊娠届出	双胎	紛失等	海外からの転入
641	674	641	8	6	19

・転入の妊産婦 54人

・要支援ケースカンファレンス実施回数 49回

・要支援ケースカンファレンス検討者数 248人

(2) 低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500g未満の児を出産、または妊娠37週より前に早産した場合は、保護者からの届出を受け、児の発育や家庭環境に応じた養育ができるよう、保健師や助産師等による訪問指導を行った。

・届出数 73件

・訪問延べ数 79件

(3) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや母親の不安な気持ちに寄り添い不安を少しでも軽減できるよう、保健師や助産師等による訪問指導を行った。

・訪問実数 14件

・訪問延数 23件

(4) 産前産後サポート支援

ア 若年妊産婦支援

10代の若年妊産婦は、出産や育児の情報不足、経済問題、支援の繋がりにくさなど複数の課題を抱えていることが多い。そのため、妊娠中から安全な出産や安心して子育てが出来るよう、電話面接、訪問、個別教室などの支援を実施した。

・支援件数：8件

イ 多胎妊産婦支援事業

身体的リスクが高く、産後における育児等の負担が大きい多胎妊産婦に対し、早い時期から必要な情報を提供するとともに、多胎育児経験者による家庭訪問や交流会を実施し、不安軽減と孤立予防を図った。

・多胎児出産準備教室

実施数：2組

・産後ピア家庭訪問（多胎育児経験者家庭訪問）

訪問回数：産婦3件

・多胎育児家庭交流会

実施回数：3回

参加延べ人数：67人

参加組数：19組

ウ 産前産後ヘルパー派遣事業

多胎妊産婦や日中支援者がいない妊産婦に対し、ヘルパーを派遣し家事や育児の負担軽減を図った。

・利用状況

単胎		双胎	
実人数 (人)	延利用回数 (回)	実人数 (人)	延利用回数 (回)
24	354	7	90

(5) 産後ケア事業

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後1年未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

・利用状況

短期入所型		通所型		居宅訪問型	
実人数 (人)	延利用回数 (回)	実人数 (人)	延利用回数 (回)	実人数 (人)	延利用回数 (回)
67	106	79	153	114	238

(6) 健康相談・支援

ア 生後2週間目全戸電話相談

出産を終え、退院後の不安を抱きやすい時期に、子育てや母親の心身等の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師による電話相談を行った。

- ・対象者数 623人
- ・実施数 618人
- ・実施率 99.1%

2 妊産婦健康診査事業

(1) 妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回（多胎妊婦は19回）と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施）

・妊婦健康診査受診状況

（単位：人）

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
受診者数	625	632	605	601	588	590	585
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
受診者数	601	588	553	586	463	321	177
回数	15回目	16回目	17回目	18回目	19回目	計	
受診者数	2	1	0	0	0	7,518	

・産婦健康診査受診状況

(単位：人)

回数	1回目 (産後2週間目)	2回目 (産後1か月目)	計
受診者数	610	629	1,239

(2) 妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

	対象者数(人)	受診者数(人)
妊婦	641	293
産婦	592	168

3 母子保健事業

(1) 健康診査

ア 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導を行い、育児不安の軽減を図った。4か月児健診及び9か月児健診では、助産師を配置し、乳房トラブルの対応方法や母乳の与え方等の相談に応じ、1歳6か月児及び3歳児健診では、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。4か月児健診から3歳児健診では、栄養士による離乳食や食事に関する相談を行った。

更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を実施した。精密検査対象となったのは全体の18.7%であり、うち有所見者は14.3%であった。未受診者については、電話や家庭訪問にて勧奨を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

(7) 健康診査

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	既医療 (人)	要医療 (人)	要精検 (人)
4か月児	34	645	637	98.8	90	35	0	19
9か月児	36	645	631	97.8	112	38	0	38
1歳6か月児	30	672	662	98.5	130	36	1	64
3歳児	35	812	804	99.0	108	25	25	210

(イ) 相談・指導

(単位：件)

区 分	母乳相談	栄養相談	心理相談
4か月児	114	19	－
9か月児	38	182	－
1歳6か月児	－	97	32
3歳児	－	74	135

イ 1か月児健康診査

疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、児のすこやかな成長と子育て家庭を支援することを目的に、1か月児健康診査を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)			
			異常なし	要経過観察	要治療	要指導
605	604	99.8	582	19	3	0

※異常なしに記載なし含む

ウ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の予防知識の普及とう歯の罹患率減少につなげることを目的に、市内の歯科医院において、2歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

	対象数 (人)	R6受診数 (人)	R7受診数 (人)	計	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
R4年度生まれ	798	469	159	628	78.7	18 (2.9%)
R5年度生まれ	719	-	417	417	58.0	14 (3.4%)

※受診可能期間が2歳の誕生日から1年間のため生まれた年度ごとに集計

エ 6歳児歯科健康診査及び育児相談

歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図ることを目的とし、市内の歯科医院において、6歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

	対象数 (人)	R6受診数 (人)	R7受診数 (人)	計	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
H30年度生まれ	1,082	424	127	551	50.9	101 (18.3%)
H31年度生まれ	954	-	353	353	37.0	62 (17.6%)

※受診可能期間が6歳の誕生日から1年間のため生まれた年度ごとに集計

オ 乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
639	618	96.7	607	10	1

カ 新生児聴覚検査

聴覚障がいや新生児期に発見し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)	
			異常なし	要精密検査
630	630	100.0	627	3

(2) 健康教育

ア Hello赤ちゃん教室

妊婦とそのパートナーまたは支援者に対して、助産師や栄養士による講話や参加者でグループワークを行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施数 9回
- ・参加者数

参加者 (組数)	参加者数 (人)	参加人数 (人)		
		妊婦	夫	祖父母等
81	148	80	67	1

イ 若年妊産婦交流プログラム

10代の妊婦と、10代で妊娠出産した母親に対して、親子遊びや参加者同士での交流を図った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施数 1回
- ・参加者数 母親2人（児同伴）

ウ 妊娠8か月教室

妊娠7か月から9か月の妊婦に対して、助産師や保健師による講話や参加者でグループワークを行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、子育て支援センターエンジェル
- ・実施数 6回
- ・参加者延べ数 68人

エ プレパパ教室

妊婦の夫またはパートナーに対して、助産師による講話や育児体験、先輩パパによる体験談、離乳食づくり、交流会を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、こどもっちパーク
- ・実施数 5回
- ・参加者数

参加者 (組数)	参加者数 (人)	参加人数 (人)		
		妊産婦	夫	祖父母等
46	53	7	46	0

オ プレママカフェ

妊婦に対して、産前・産後の育児不安の軽減等を図るため、保健師や管理栄養士による相談や参加者同士での交流を行った。

- ・会場 スターバックス倭町店
- ・実施数 2回
- ・参加者延べ数 6人

カ 離乳食教室

5～8か月の乳児とその保護者を対象に、離乳食の困り事や不安を軽減するため、講話や個別相談を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 11回
- ・参加者延べ数 63組

キ にこここ教室

発達や関わり方に悩みのある2歳の子どもを持つ保護者と児を対象に、親子遊び、専門職による発達の見立て、個別相談を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 22回
- ・参加者延べ数 106人

ク 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小中学生を対象に、性（生）教育の授業協力を行った。また、性別に関わらず若い時から、健康や性に関する正しい知識を持ち、ライフデザイン（妊娠・出産を含めた将来設計）や将来の自分の健康を考えて日々の生活や健康に向き合う取り組みである「プレコンセプションケア」の普及啓発を図った。

- ・授業協力

対 象	実施回数 (回)	参加人数（人）
		児童・生徒
小 学 校	3	71
中 学 校	12	1155

ケ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の配布を行った。

- ・実施回数 36回（9か月児健康診査時）
- ・参加者延べ数 633組 ※9か月児健診未受診者2名を含む（訪問にて配布）

コ 出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、幼児期の食事や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

- ・実施回数 13回
- ・参加者延べ数 380人

サ ビよびよ交流会

出生数の少ない地域（藤岡地域、都賀地域、西方地域、岩舟地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるように支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

- ・会 場 北部健康福祉センター、都賀公民館、藤岡保健福祉センター
CITY GYM & SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）
- ・実施回数 6回

- ・参加者延べ数 41組

(3) 健康相談

ア 子育て広場・あかちゃん交流会～ひよこくらぶ～

乳幼児期の子どもを持つ保護者に対し、育児、栄養、歯科に関する相談及び指導や保育士による親子遊びを行った。今年度より、併せて生後2～4か月の子どもを持つ保護者同士の交流会を開催し、育児不安の軽減や仲間づくりの支援を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 11回
- ・参加者延べ数 子育て広場：175組、あかちゃん交流会：126組

イ のびのび相談

乳幼児健康診査及び相談・家庭訪問等において、発達の問題や強い育児不安が見られた乳幼児期の子どもを持つ保護者に対して、心理相談員が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 36回
- ・参加者延べ数 84組

ウ こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・看護師が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、3つの質問票（育児支援チェックリスト、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票）を用いて、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげた。

また、県事業である「ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業」として、地域全体で子育てを応援する旨のメッセージカードや企業からの協賛品（紙おむつ、トートバック、乳児用麦茶など）を贈呈した。

対象数（件）	実施数（件）	実施率（％）
647	638	98.6

(4) 個別支援

妊娠期から育児に関する様々な悩み等に対応するため、こども家庭センター相談窓口「とちはぐ」及び地区担当保健師等による電話、訪問による個別相談を実施した。また、困難ケースや情報共有が必要なケースに対して、ケース検討会議等で関係機関と連携を行い支援した。

ア 個別相談

（単位：人）

	妊婦	産婦	乳児	幼児	学童以上	その他	計
訪問	53	754	736	52	0	7	1,602
面接	928	708	1,653	1,801	0	0	5,090
電話	304	1,307	190	314	0	0	2,115
計	1,285	2,769	2,579	2,167	0	7	8,807

イ 会議

参加会議 97回（ケース検討会議、児童会議等）

(5) 給付事業

ア 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

・給付認定者数 24件

イ 妊婦支援給付金（妊婦のための支援給付）出産・子育て応援ギフト

妊娠期から切れ目ない支援を行うことを目的として、子ども・子育て支援法に創設された「妊婦のための支援給付」と児童福祉法に創設された「妊婦等包括相談支援事業（伴走型相談支援）」を一体的に実施した。経済的支援では、妊娠時に5万円、出産後に胎児1人当たり5万円を支給した。

「妊婦のための支援給付」は、従来の「出産・子育て応援ギフト」に代わり、創設された制度であり、令和7年3月31日までに出生したこどもがいる養育者には、子育て応援ギフトを支給した。

・妊婦支援給付

1回目（件）	2回目（件）
683	584

・ギフト提供者数

出産応援ギフト（件）	子育て応援ギフト（件）
3	117

・伴走型相談支援（妊娠8か月アンケート実施）数

対象者数（件）	回答数（件）	回答率（％）
620	602	97.1

・相談希望数、支援数

相談希望数（件）	延支援数（件）	支援方法（件）			
		電話	面接	訪問	メール
174	155	143	11	1	0

こどものすだち応援係

1 相談支援等業務状況

(1) 心・育ちの相談

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等がこどもの発達や心の課題について相談を受け、必要に応じた検査を行い、専門的評価に基づく助言を行った。

面接相談・検査実績

（単位：件）

面接相談	731	訪問相談	116
電話相談	1,494	知能検査	105

オンライン相談	1	言語検査	144
---------	---	------	-----

(2) 医療相談

こどもの心や発達に関する様々な相談に医師が応じ継続的な支援を行った。

実施状況

	令和7年度
回数（回）	22
延人数（人）	45

(3) 関係機関への巡回訪問

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等が、園や小中学校等への巡回訪問を行い、こどもの発達に合わせた効果的な指導方法について助言を行った。

巡回訪問実績（単位：回）

	令和7年度
幼稚園・保育園	49
学童保育	1
小中学校	17
合計	67

(4) 関係機関との連携会議

支援を必要としているこどもに関係する者が、園や学校、病院等で状況の把握、課題の整理、支援方針等を話し合った。

実施状況

	令和7年度
回数（回）	50
関係機関数（箇所）	191
会議出席者数（人）	464

2 啓発活動

障がいの有無にかかわらず全てのこどもが地域の中で豊かに暮らせるよう、保護者や支援者のための研修や市民向けの講座を開催した。

(1) 啓発活動（講演会等講師派遣）

実施日	演題等	主催
6月27日（金）	ことばを育てる会	通級指導教室
11月14日（金）	栃木市こども家庭センターについて	スクールサポーターの会
11月28日（金）	地域で行う相談援助および地域連携について	目白大学

(2) 保護者研修（ペアレントトレーニング）

実施日	演題等	講師	延べ参加者数（人）
-----	-----	----	-----------

10月6日(月)	自分らしく前向きな子育て ができるよう、家庭での子 どもへの関わり方を学ぶ	明星大学心理学部心理学科 教授 竹内康二氏	33
10月27日(月)			
11月17日(月)			
12月1日(月)			
12月15日(月)			

(3) 支援者専門研修(こども支援スキルアップ研修)

実 施 日	演 題 等	講 師	実参加者 数(人)
10月2日(木)	ギフテッドの理解	獨協医科大学 医師 杉田 憲一氏	39
11月8日(火)	こどもの発達障害の特性と理解	目白大学 心理カウンセリング学科 教授 高橋稔氏	51
12月4日(木)	検査結果を支援に活かすために	宇都宮大学大学院 教育学研究科 准教授 司城紀代美氏	37
1月16日(金)	不登校児への対応	常盤大学人間科学部 心理学科 教授 秋山 邦久氏	32

(4) 市民講座

実 施 日	演 題 等	講 師	実参加者 数(人)
9月9日(火)	登校、登園に不安のあるこどもへの対応 ～こどもの命を守るために家庭でできること～	柳川小児科 医師 柳川悦子氏	30
9月17日(水)	こどもの体幹が弱いのはなぜ？ ～遊びながら姿勢の改善～	マロニエ医療福祉 専門学校 作業療法士 岡田岳氏	26
10月29日(火)	思春期の性について ～中学生・高校生の性の現状について～	芳賀赤十字病院 医師 木佐美祥氏	11
11月26日(水)	小学生、中学生の悩みごと ～スクールカウンセラーの立場から～	公認心理師 渡邊文子氏	16

3 未就学児ことばの教室

言語発達に課題を持つ未就学児童を対象にことばの指導を行った。

(単位：人)

	実人数	延人数	実施場所
栃木教室	33	757	栃木保健福祉センター
大平教室	9	194	大平健康福祉センター
岩舟教室	5	139	静和地区公民館
合 計	47	1,090	

4 こどもサポートクラブ

こどもサポーターの協力のもと、地域での仲間づくりや社会性の伸長を目的としたクラブ活動を行った。発達特徴に合わせた支援を行うため専門員も参加した。

	回数（回）	延参加人数（人）	実施場所
ミュージック	8	33	きららの杜蔵の街楽習館 栃木保健福祉センター
クリニカルアート	8	71	きららの杜蔵の街楽習館 栃木保健福祉センター
フットサル	8	37	アルレクスパークとちぎ （屋内運動場）
合 計	24	141	

5 乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者へ育児支援を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター

開催回数（回）	受診児数（人）			結果内訳（人）		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
16	63	0	63	50	1	12

6 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び保健福祉センター等において発達相談を行った。

・実施状況

（単位：人）

受診者数	結 果 内 訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
876	579	142	47	7	101

児童家庭相談係

1 児童福祉関係

(1) 家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員4人により各種の相談指導を行った。また、ヤングケアラー・コーディネーター1名による啓発活動と児童の状況把握や相談支援を行った。

相談区分別相談指導件数及び訪問回数

	養護相談		保健 相談	障害 相談	非行	育成相談				その他	合計 (件)	訪問回数 (回)
	虐待	その他				性格行動	不登校	適性相談	親子関係			
合計	3,932	19	-	-	-	-	-	14	-	166	4,131	162

ヤングケアラー対応人数 18人

ヤングケアラー・コーディネーター対応件数 延べ535件

(2) 養育支援家庭訪問事業

児童虐待防止対策として養育支援家庭訪問事業支援員2人を配置し、児童の養育力不足のため支援を要する家庭に対し、家庭訪問等による育児・家事の援助を行った。

ケース区分別訪問回数及び対応ケース数

	養育者の 諸問題	虐待関係	家庭養育 上の問題	施設等から の家庭復帰	心身上 の諸問 題	合計 (回)	対応ケース 数 (件)
合計	152	7	10	4	-	173	121

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者が疾病、疲労などで身体上、精神上または環境上の理由により児童の養育が一時的に困難になった場合に、乳児院・児童養護施設や里親宅など児童の保護を適切に行うことができる施設などに児童の養育、保護を委託し、家庭での子育て支援を行った。

・利用状況

乳児院		児童養護施設		里親宅		合計	
利用者数 (人)	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用日数 (日)
6	30	13	44	2	16	21	90

2 ひとり親家庭福祉関係

(1) 母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種 類	件 数 (件)	金 額 (円)
就 学 支 度 資 金	1	408,000
合 計	1	408,000

(2) 母子家庭自立支援給付金及び父子家庭自立支援給付金事業

種 類	件 数 (件)	金 額 (円)
自立支援教育訓練給付金	0	0
高等職業訓練促進給付金等事業	5	5,973,000
合 計	5	5,973,000

(3) ひとり親家庭養育費確保支援補助金

種 類	件 数 (件)	金 額 (円)
公正証書等作成経費補助	8	177,130
養育費保証経費補助	0	0
合 計	8	177,130

3 配偶者暴力相談支援センター関係

相談、証明書等発行状況

相談 人数	来所 延件数	電話 延件数	訪問 延件数	証明書等発行件数
171 人	130 件	416 件	14 件	住/意見 17 件 保/年 0 件 来 0 件 意見提出 1 件

※ 住/意見 … 「住民基本台帳事務における支援措置申出書」に対する意見

保/年 … 健康保険、年金に係る証明書

来 … 来所相談証明書

意見提出 … 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第 14 条第 2 項に基づき裁判所から意見提出を求められた件数

4 こども食堂関係

市内で実施するこども食堂の開催にあたり、ホームページ等での周知広報、寄附の受入調整、市有施設の利用料減免や、こども食堂開設運営補助金の支給等の支援を行った。

こども食堂開設運営補助金の支給実績

支給団体数	金 額 (円)
8 団体	688,000